

# 建屋周辺の地下水位、汚染水発生状況

2024年 8月29日

**TEPCO**

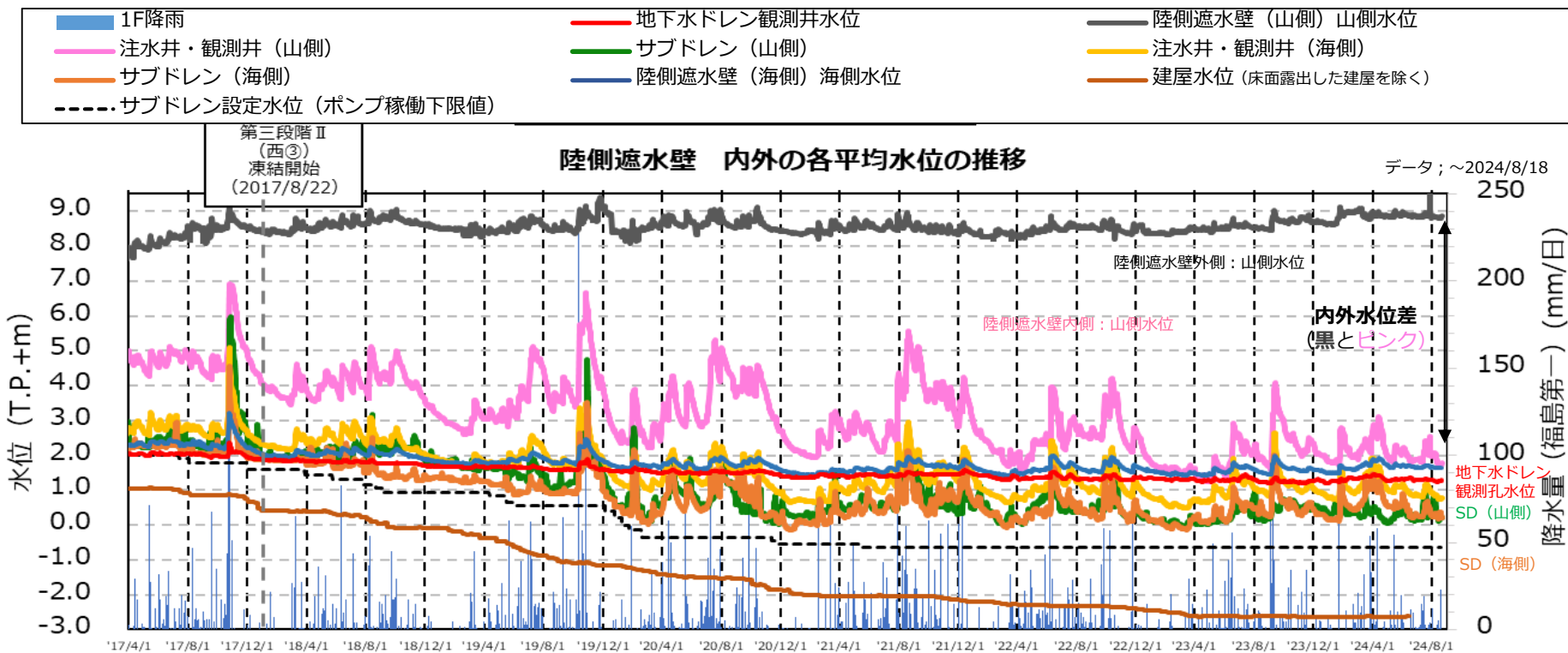
---

東京電力ホールディングス株式会社

- |                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 1. 建屋周辺の地下水位、サブドレン等のくみ上げ量について | P2～3  |
| 2. 汚染水発生量について                 | P4    |
| 参考1 地中温度分布および地下水位・水頭の状況について   | P5～18 |

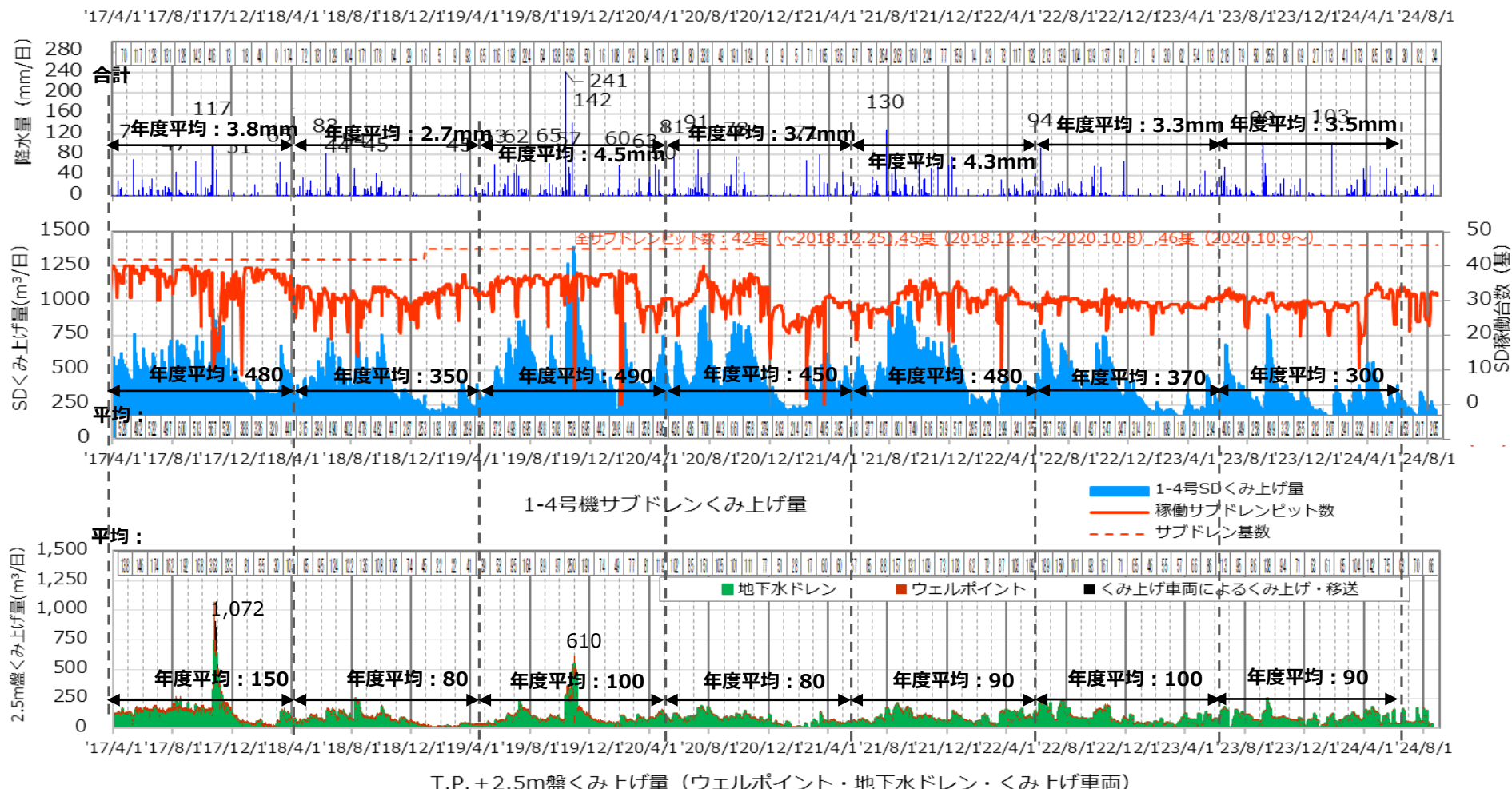
# 1-1. 建屋周辺の地下水位の状況

- 陸側遮水壁内側エリアの地下水位は山側では降雨による変動があるものの、内外水位差は確保した状態が維持されている。
- 地下水ドレン観測井水位は約T.P.+1.4mであり、地表面から十分に下回っている（地表面高さ T.P.+2.5m）。



# 1-2. サブドレン・護岸エリアのくみ上げ量の推移

- 1-4号機サブドレンは、降水量に応じて、くみ上げ量が変動している状況である。
- T.P.+2.5m盤くみ上げ量は、T.P.+2.5m盤エリアのフェーシングが完了しており、安定的なくみ上げ量で推移している状況である。

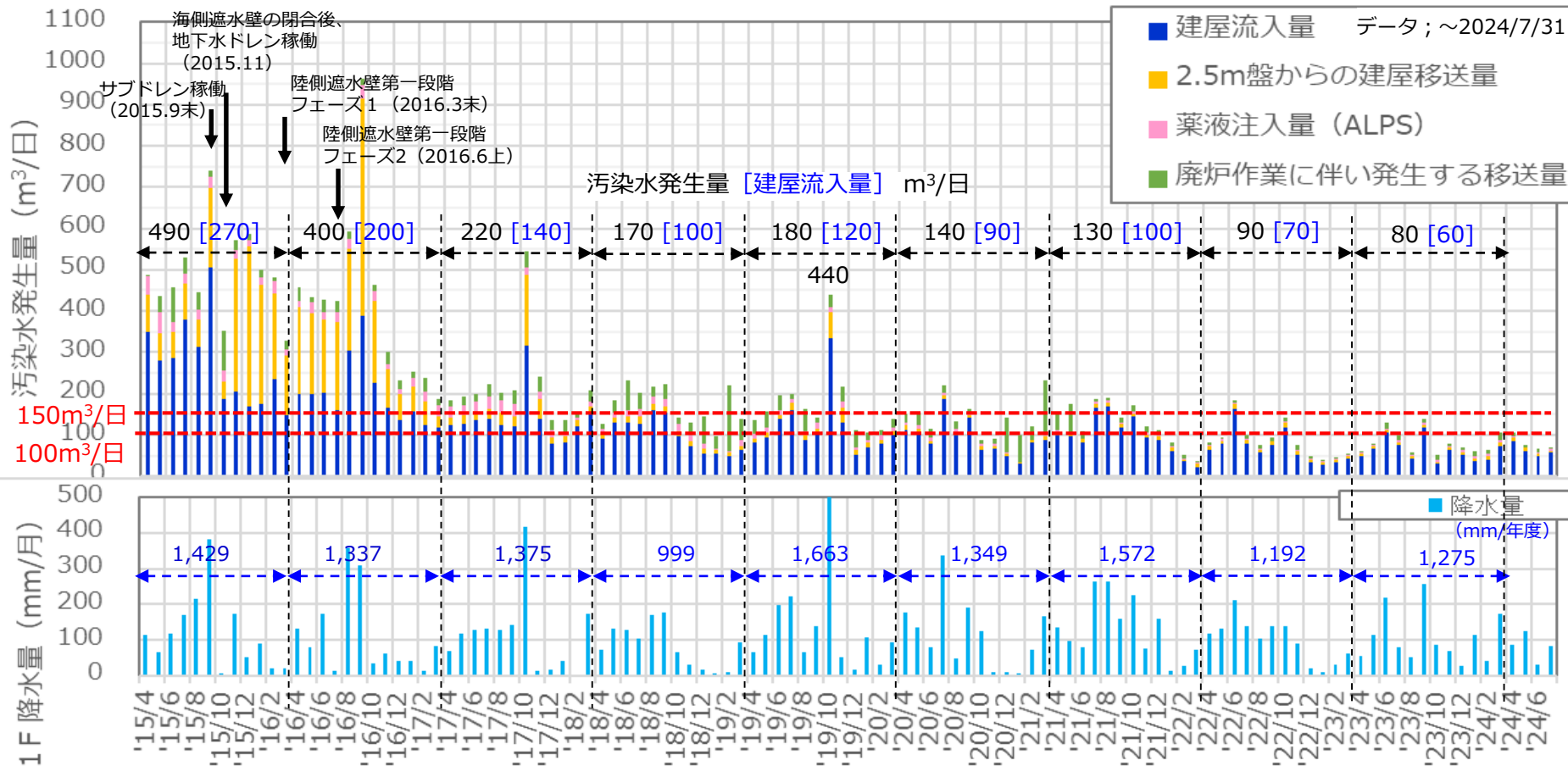


データ; 2024/8/18

※平均値は、降水量を除き10m³単位で四捨五入

## 2. 汚染水発生量の推移

- 2023年度は、フェーシング等の対策の効果により、建屋流入量が2022年度と比較して抑制されており、汚染水発生量は約80m<sup>3</sup>/日と既往最小となった。降水量は1,275mm であり、平年雨量約1,470mmと比較すると約200mm少ない。平年雨量相当だったとしても、汚染水発生量は約90m<sup>3</sup>/日程度と評価される。
- 2024年度は、4月は3月の降雨影響が残り、建屋流入量が多い状況が確認されたが、5月以降は降雨量が少ないため、地下水位の低下とともに建屋流入量が低減し、汚染水発生量は100m<sup>3</sup>/日を下回る状況が継続している。



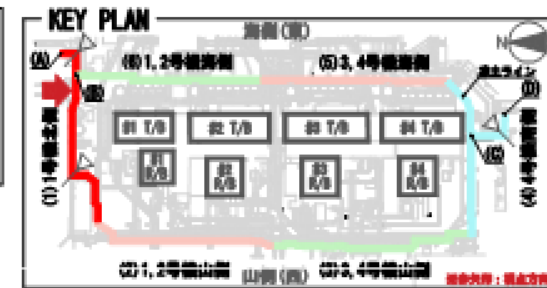
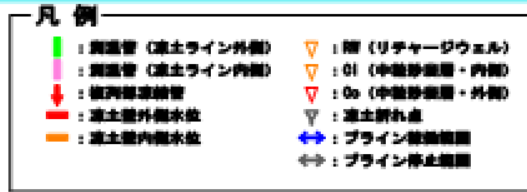
注) 2017.1までの汚染水発生量(貯蔵量増加量)は、建屋滞留水増減量(集中ラド含む)と各タンク貯蔵増減量より算出しており、気温変動の影響が大きい  
ため、2017.2以降は上表の凡例に示す発生量の内訳を積み上げて算出する方法に見直している。よって、2017.1までの発生量の内訳は参考値である。

【参考1】 地中温度分布および  
地下水位・水頭の状況について

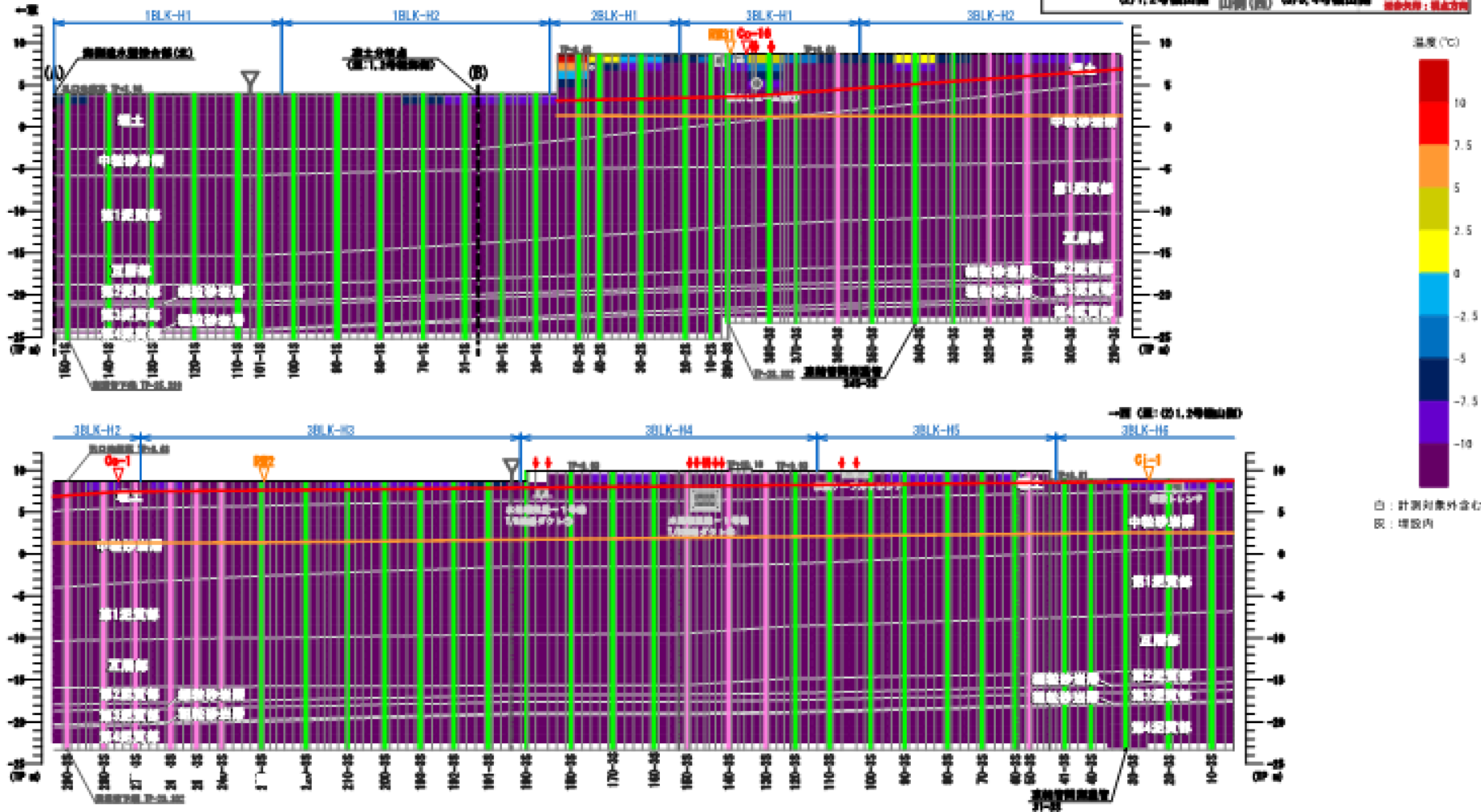
## ■ 地中温度分布図

(1) 1号機北側 (北側から望む)

(温度は8/20 7:00時点のデータ)



※RW31は計器故障のため、図中の水位表示はRW1の値で代替して記載



■ 地中温度分布図

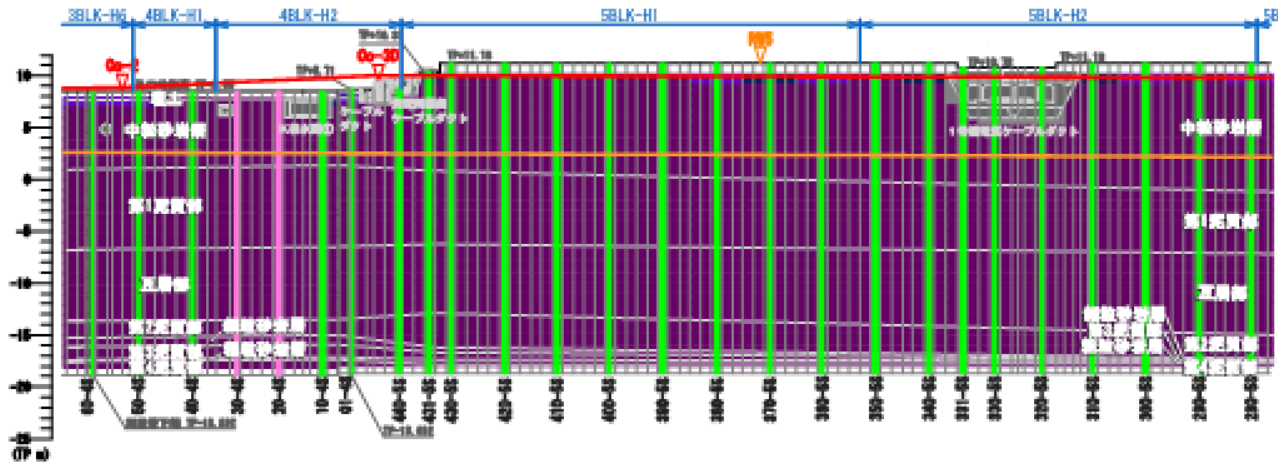
(2) 1,2号機山側（西側から望む）

(温度は8/20 7:00時点のデータ)

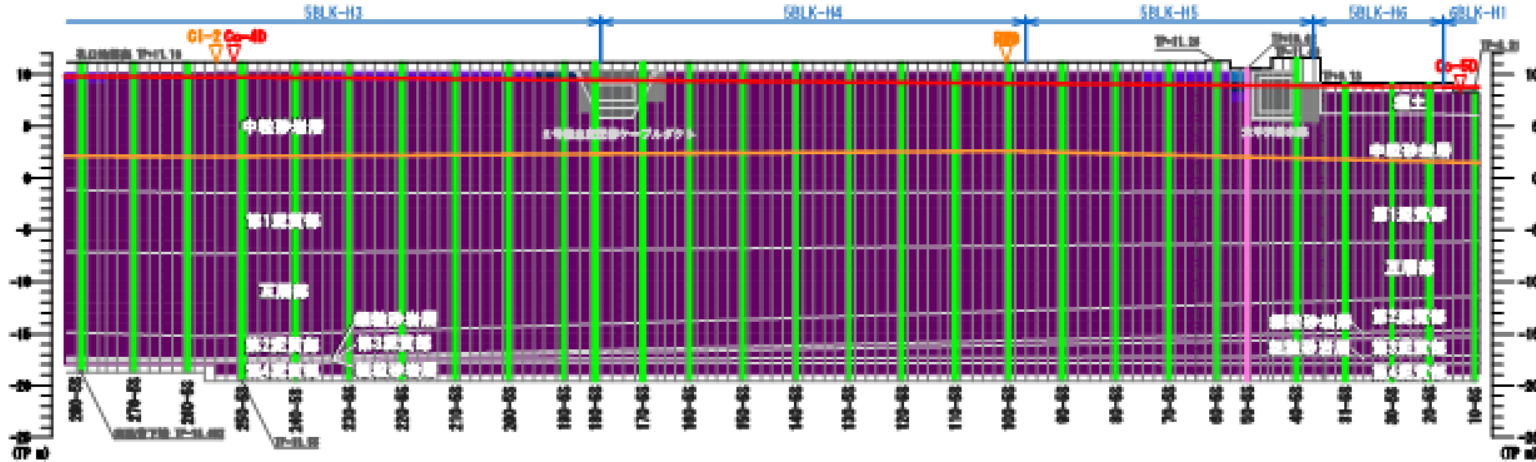
- 凡例
- 調査管 (直土ライン外側)
  - 調査管 (直土ライン内側)
  - 検出部取付管
  - 直土層外側水位
  - 直土層内側水位
  - ▽ (リチャージウェル)
  - ▽ O1 (中継砂層層・内側)
  - ▽ O2 (中継砂層層・外側)
  - ▽ 直土層水位
  - ↔ プライン接続箇所
  - ↔ プライン停止箇所



→ 北 (直: 001号機海側)



→ 北 (直: 003,4号機山側)



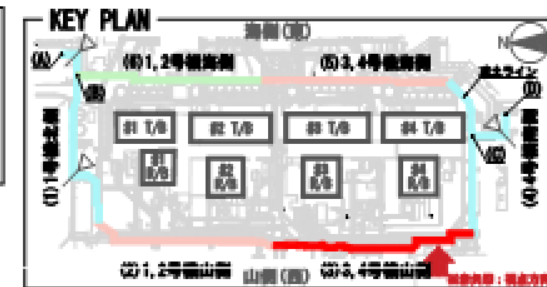
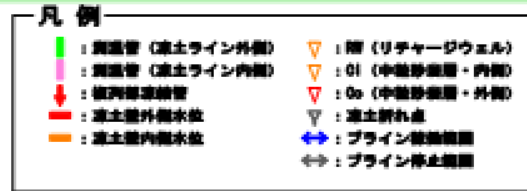
白: 計測対象外  
灰: 埋設内



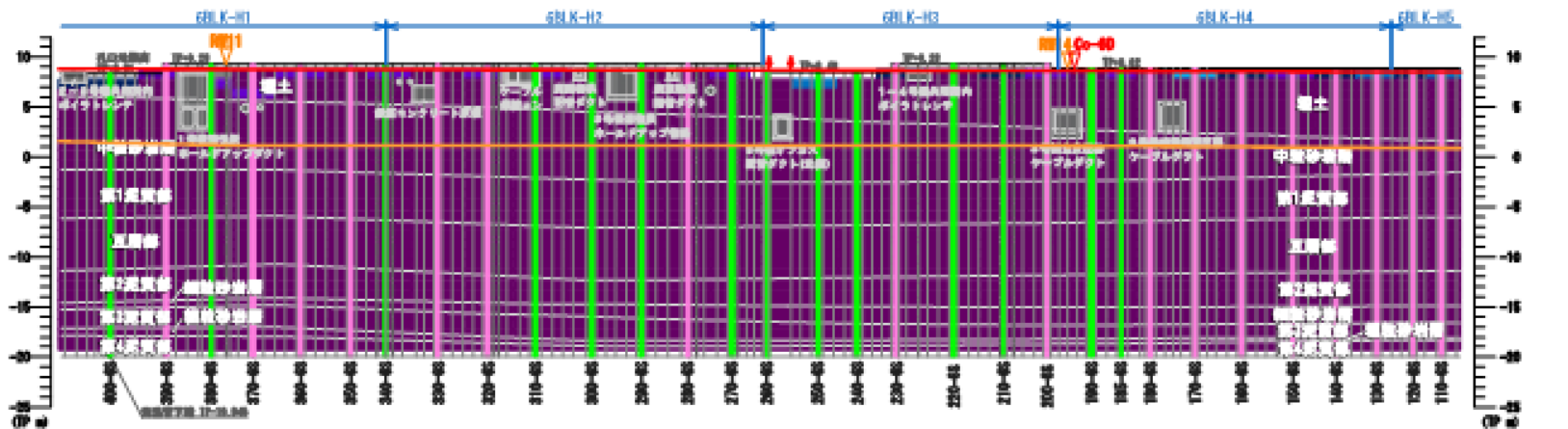
■ 地中温度分布図

(3) 3,4号機山側 (西側から望む)

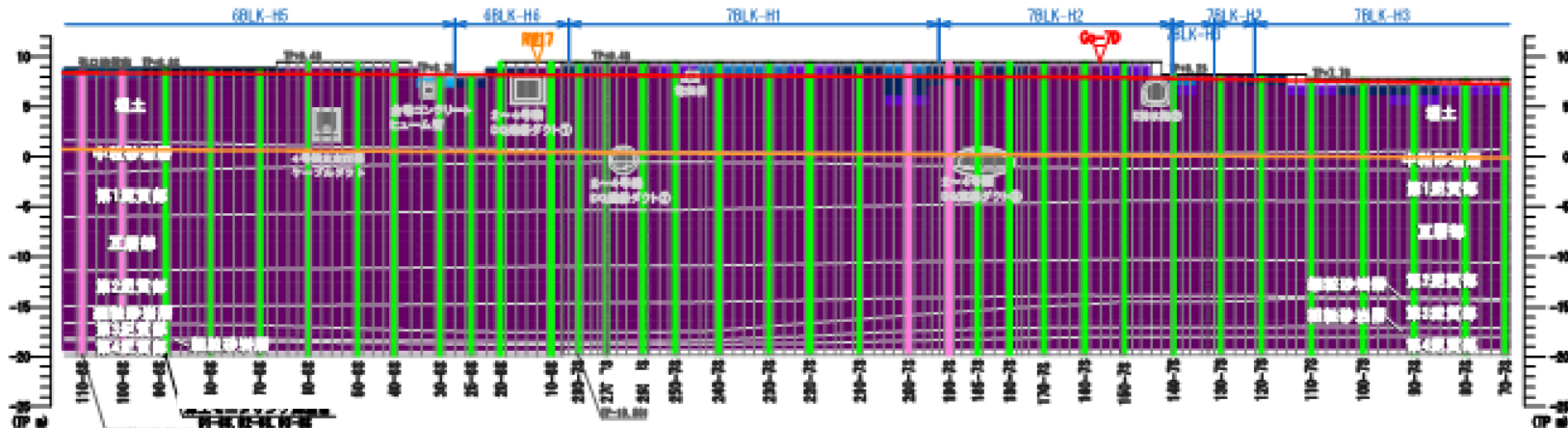
(温度は8/20 7:00時点のデータ)



一横 (測: ②1,2号機山側)



一横 (測: ③3,4号機山側)

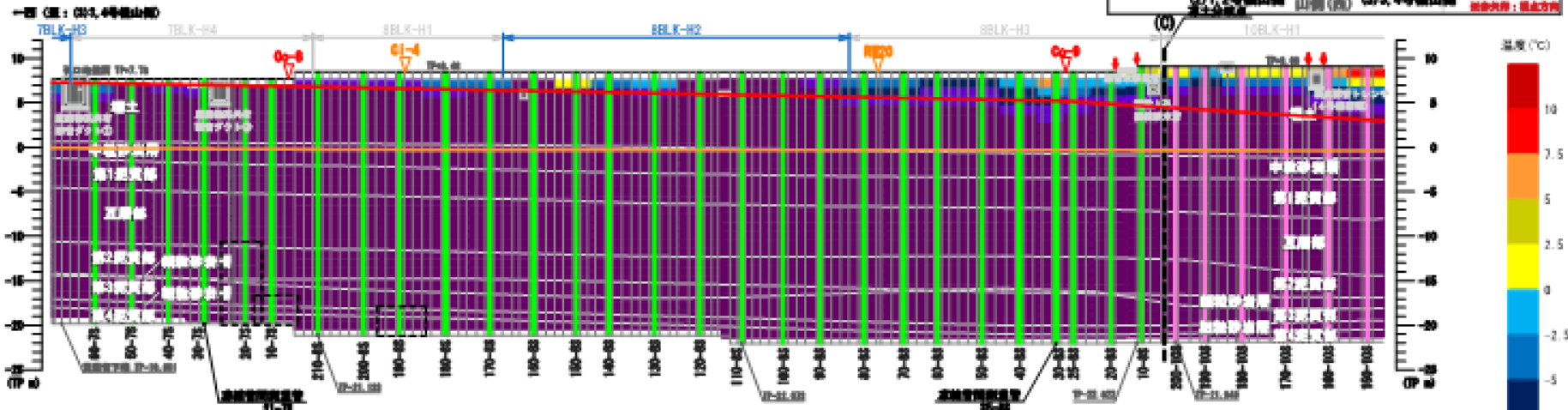
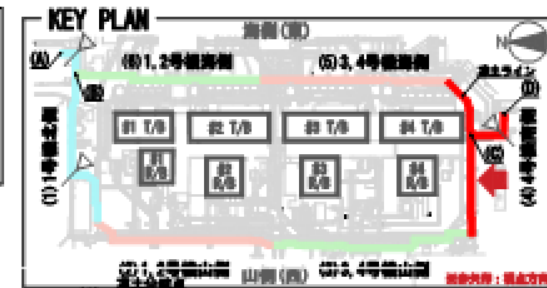
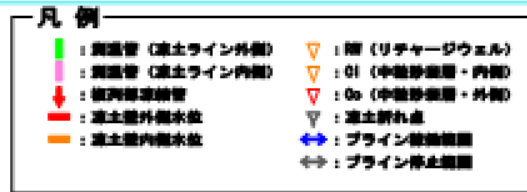


白: 計測対象外(中心)  
灰: 埋設内

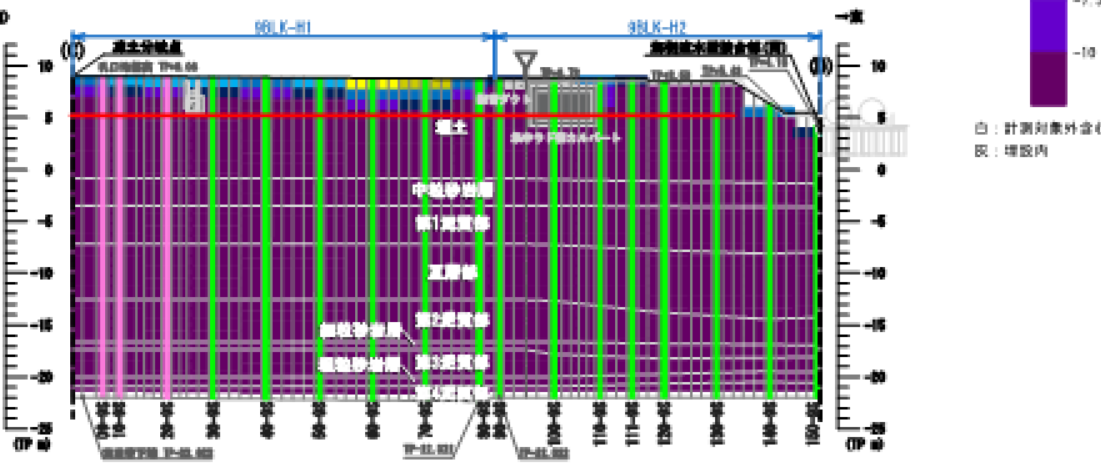
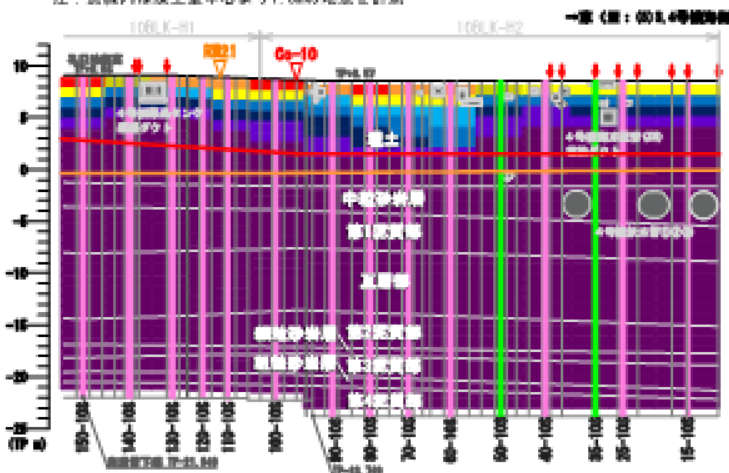
## ■ 地中温度分布図

(4) 4号機南側（南側から望む）

（温度は8/20 7:00時点のデータ）



注：点線内は流土壁中心より1.3mの地点を計測



白：計測対象外中心  
黒：埋設内



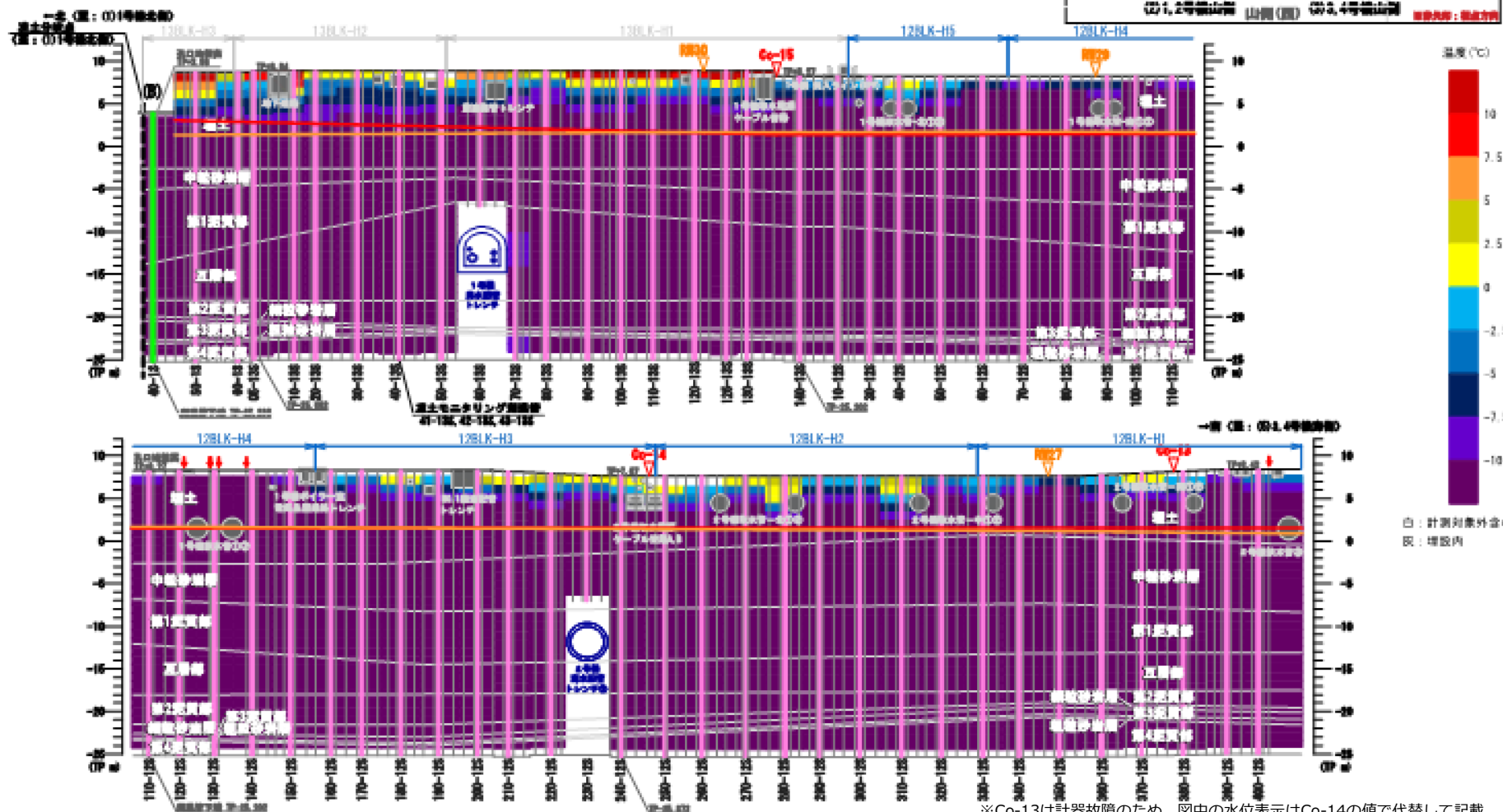
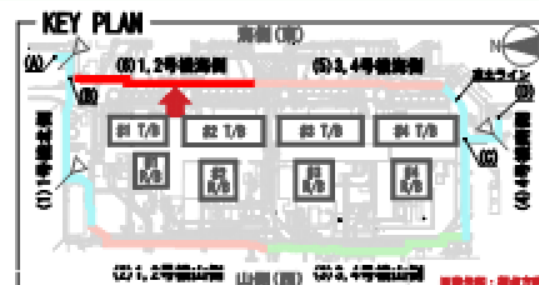
■ 地中温度分布図

(6) 1,2号機海側（西側：内側から望む）

（温度は8/20 7:00時点のデータ）

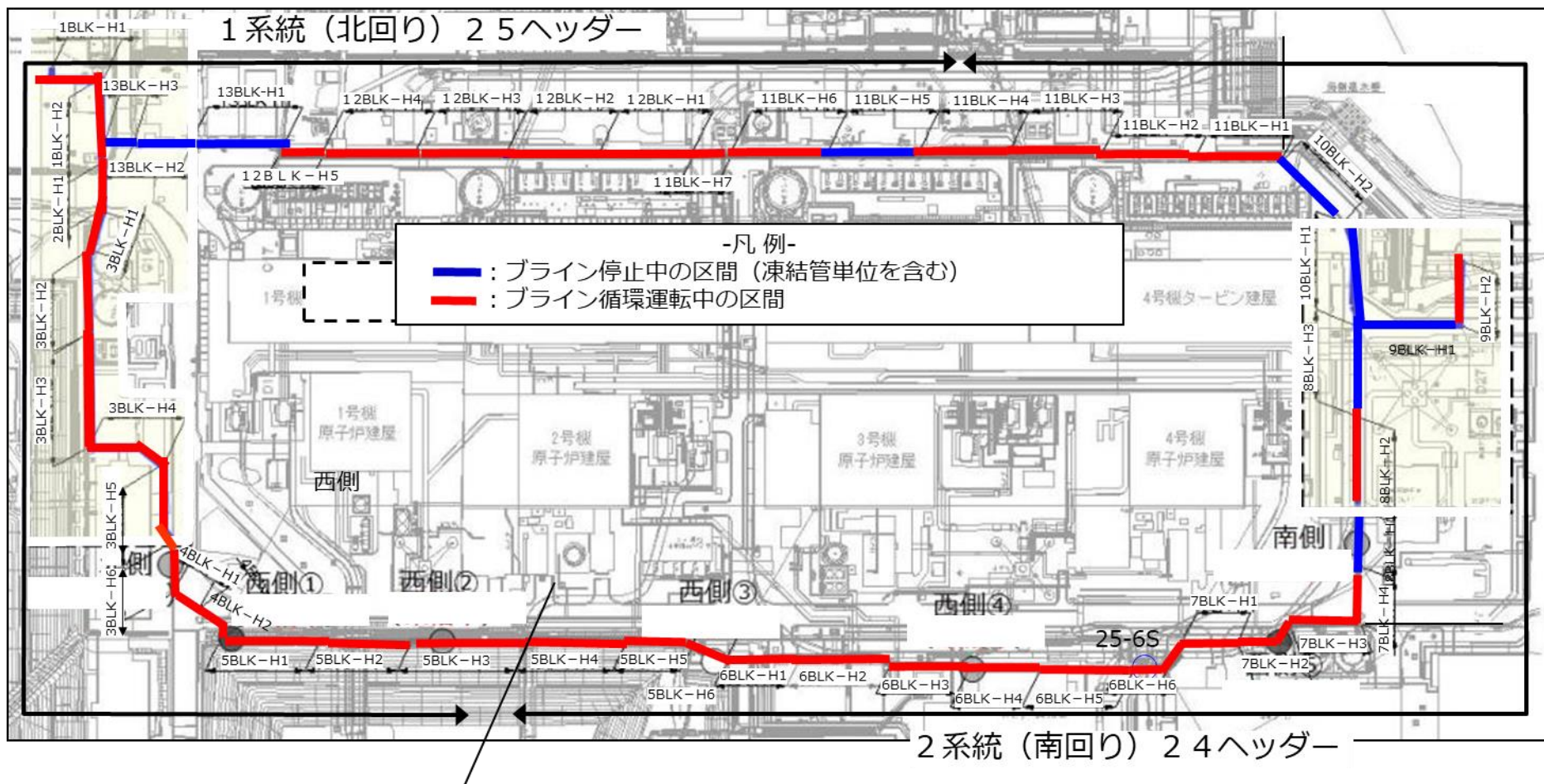
凡例

■ 緑線	： 埋設管（流土ライン外側）	▽ 赤	： 層（リチャージウェル）
■ 赤線	： 埋設管（流土ライン内側）	▽ 白	： O1（中継砂掘削・内側）
■ 赤線	： 埋設管（流土ライン内側）	▽ 白	： Oo（中継砂掘削・外側）
■ 赤線	： 埋設管（流土ライン内側）	▽ 白	： 流土割れ点
■ 赤線	： 流土線外側水位	■ 青	： プライン接続範囲
■ 赤線	： 流土線内側水位	■ 青	： プライン停止範囲

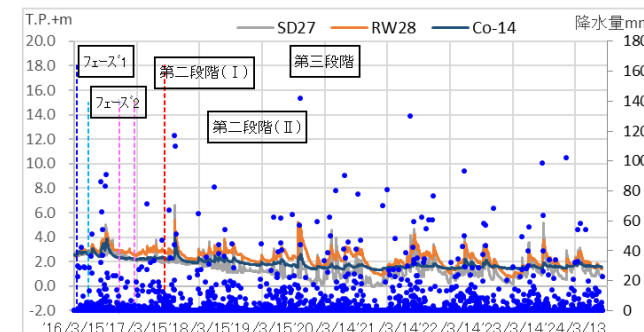
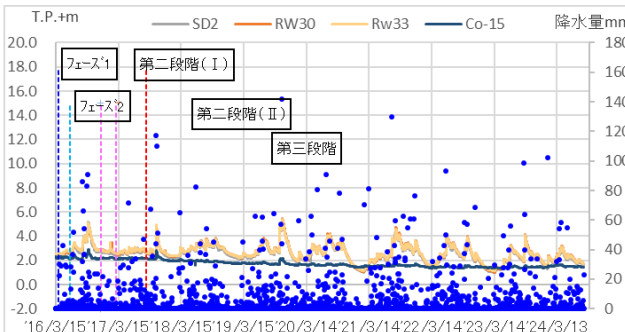
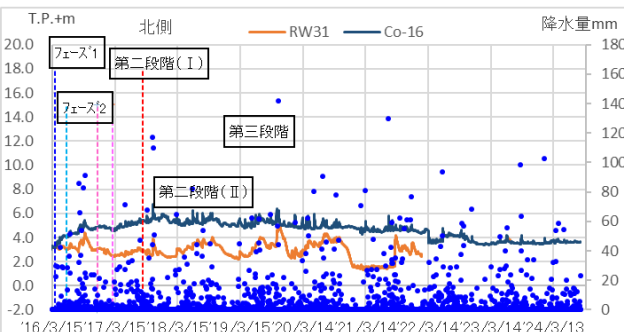


※Co-13は計器故障のため、図中の水位表示はCo-14の値で代替して記載

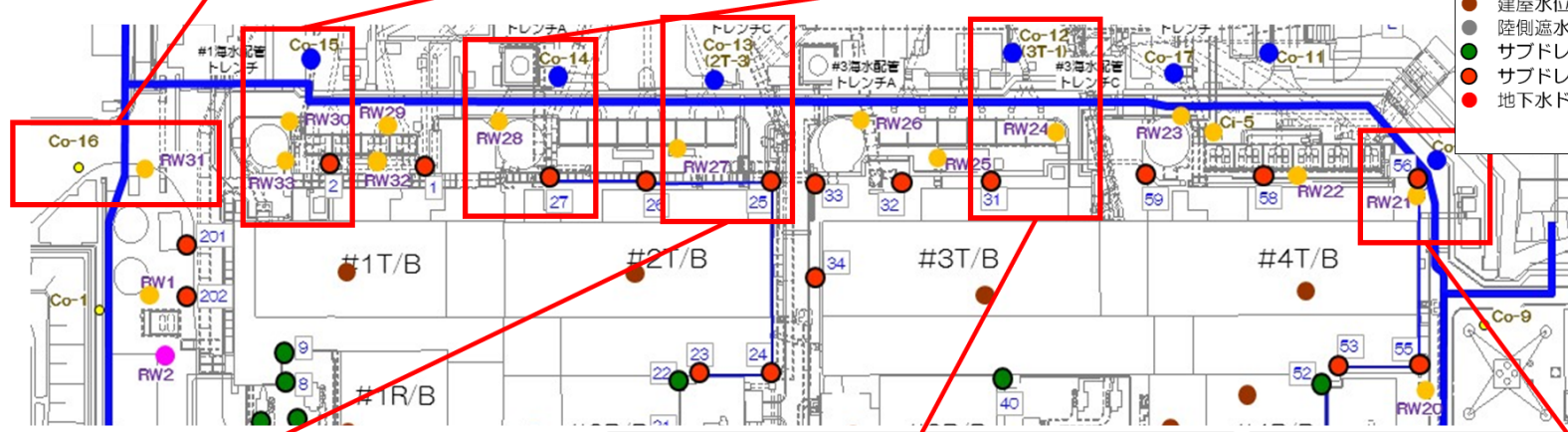
- 維持管理運転対象全49ヘッダー管（北回り1系統25ヘッダー、南回り2系統24ヘッダー）のうち12ヘッダー管（北側0，東側4，南側5，西側0）にてライン停止中。



# 【参考1】 2-1 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 海側）

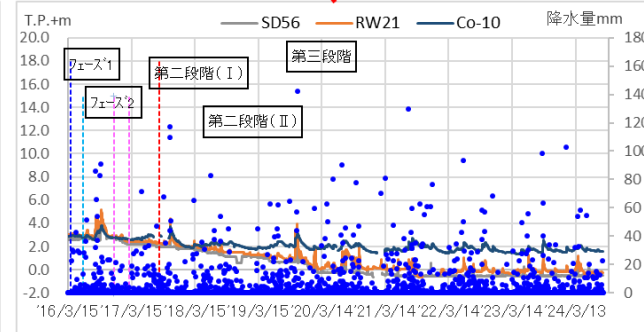
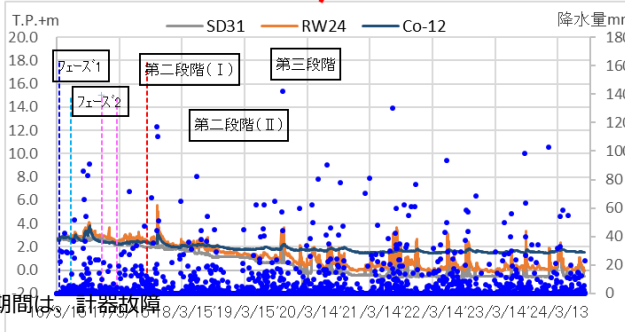
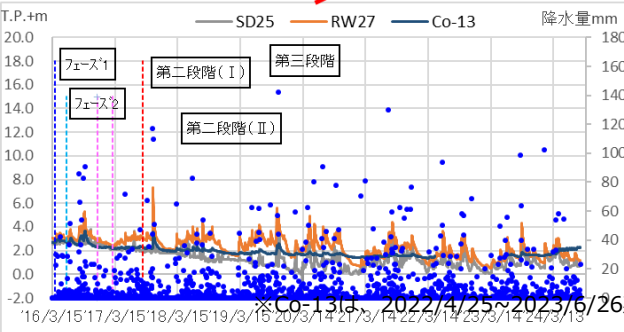


※RW31は、2022/2/2より計器故障



- 注水井・観測井（山側）
- 注水井・観測井（海側）
- 陸側遮水壁（海側）海側観測井
- 建屋水位
- 陸側遮水壁（山側）山側水位
- サブドレン（山側）
- サブドレン（海側）
- 地下水ドレン観測井

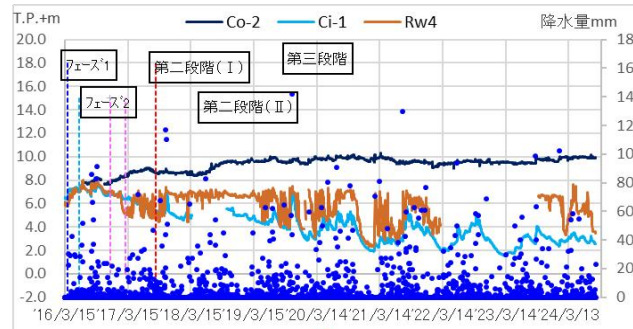
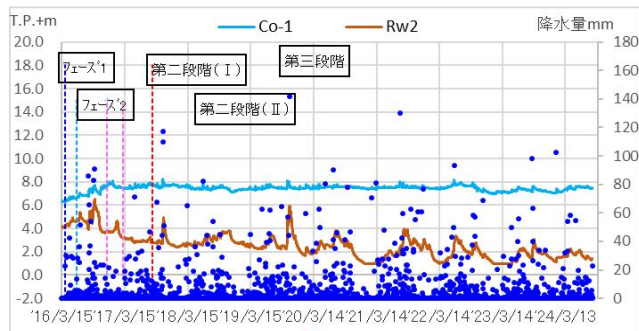
フェーズ1：H28.3/31～  
 フェーズ2：H28.6/6～  
 第二段階（I）：H28.12/3～  
 第二段階（II）：H29.3/3～  
 第三段階：H29.8/22～



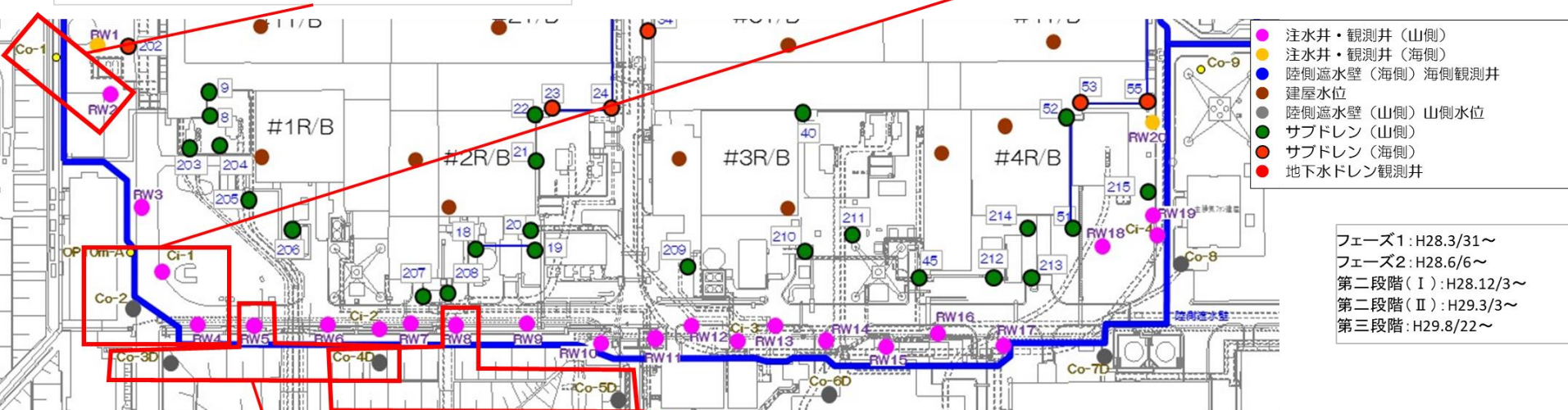
※Co-13は、2022/4/25～2023/6/26期間は計器故障

データ；～2024/8/18

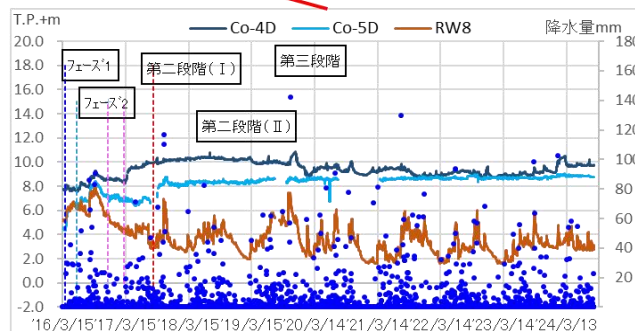
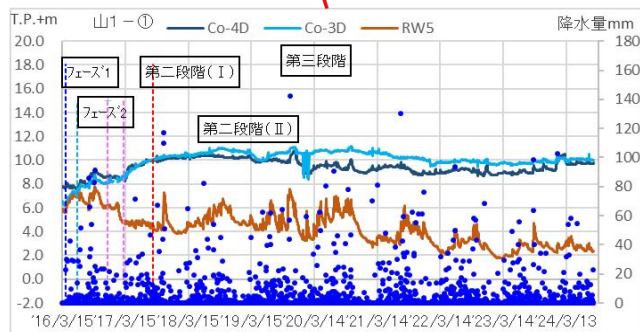
# 【参考1】 2-2 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側①）



※RW4は、2023/3/29~2023/9/20の期間は計器故障

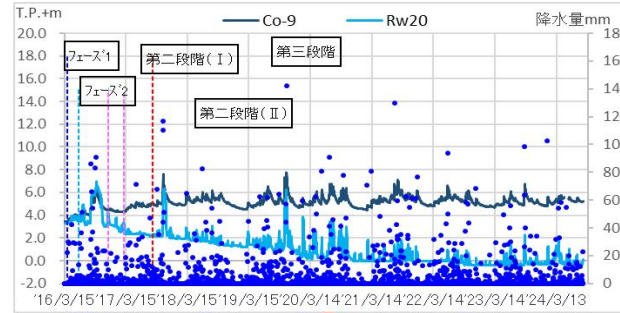


フェーズ1: H28.3/31~  
 フェーズ2: H28.6/6~  
 第二段階(I): H28.12/3~  
 第二段階(II): H29.3/3~  
 第三段階: H29.8/22~



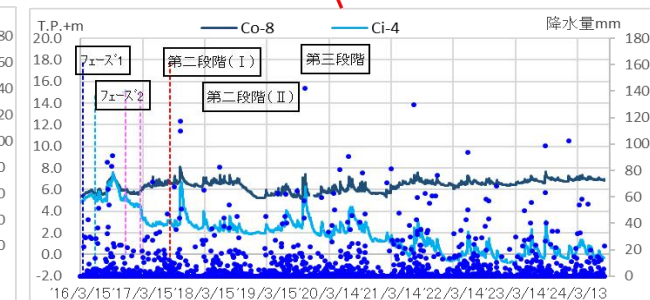
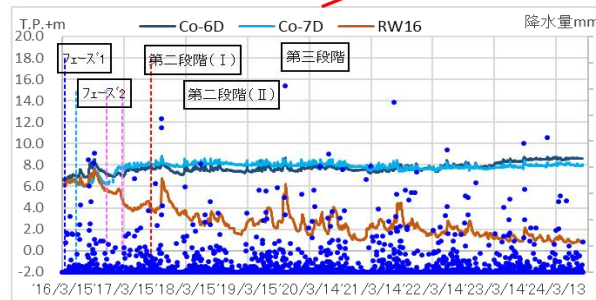
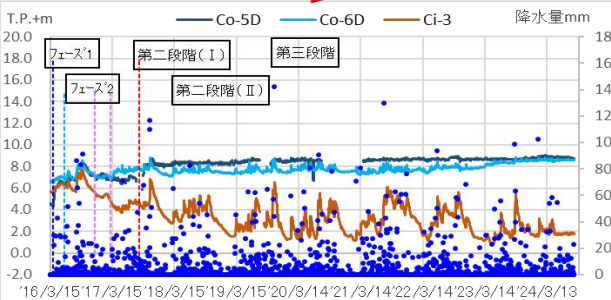
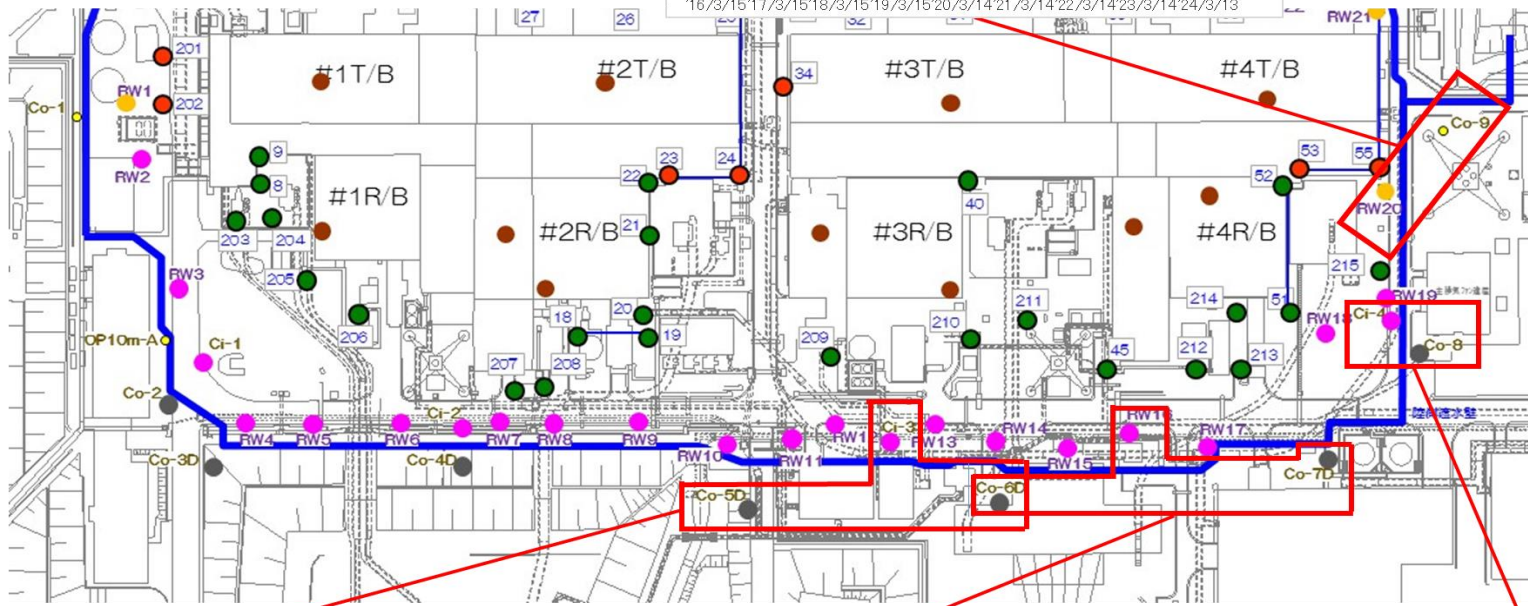
データ ; ~2024/8/18

# 【参考1】 2-3 地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側②）



- 注水井・観測井（山側）
- 注水井・観測井（海側）
- 陸側遮水壁（海側）海側観測井
- 建屋水位
- 陸側遮水壁（山側）山側水位
- サブドレン（山側）
- サブドレン（海側）
- 地下水ドレン観測井

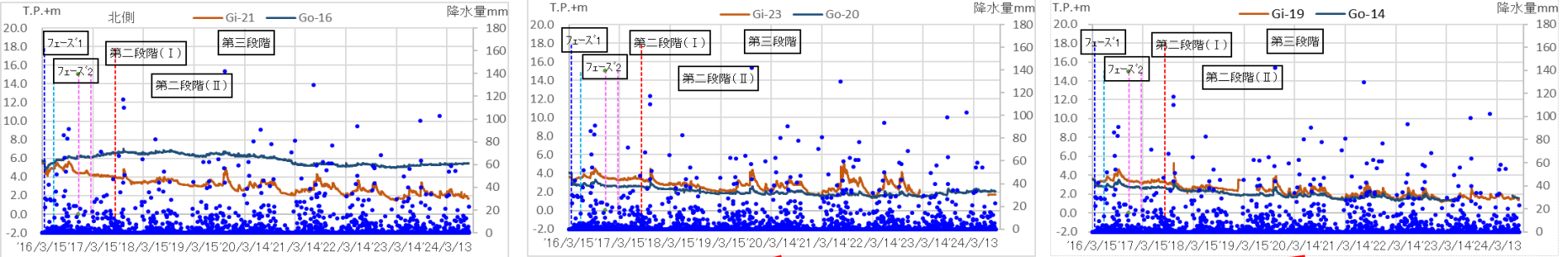
フェーズ1 : H28.3/31~  
 フェーズ2 : H28.6/6~  
 第二段階 (I) : H28.12/3~  
 第二段階 (II) : H29.3/3~  
 第三段階 : H29.8/22~



データ ; ~2024/8/18



# 【参考1】 2-4 地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 海側） TEPCO

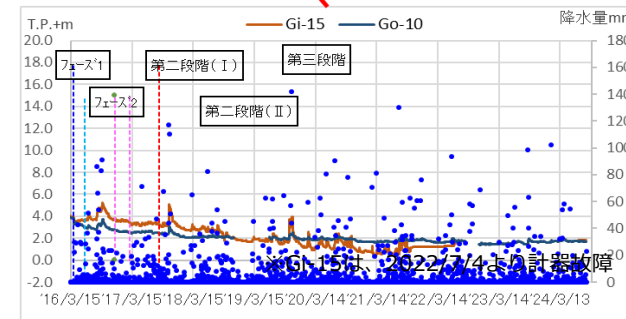
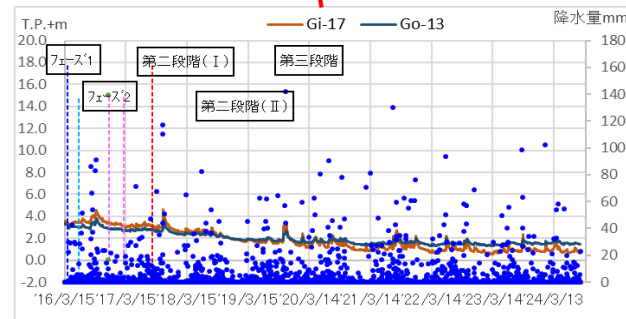
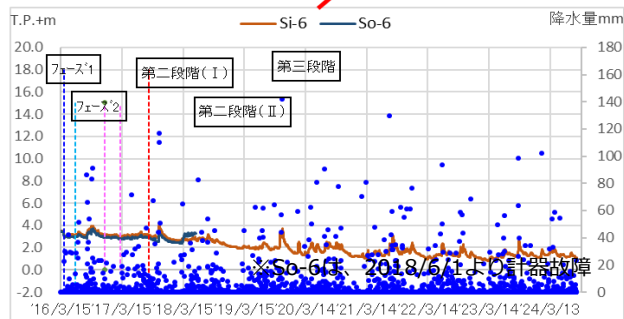
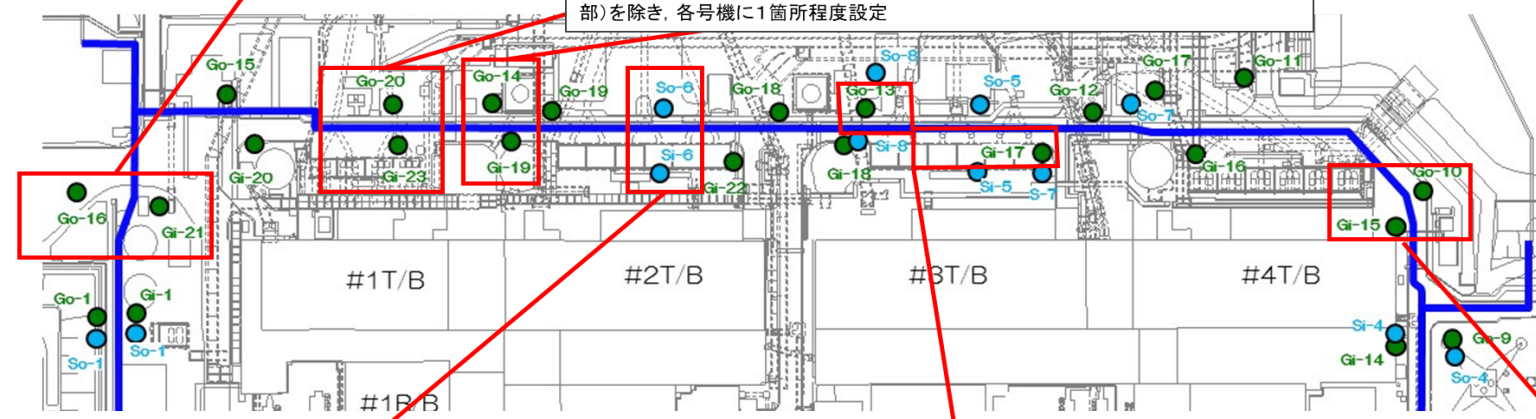


※Gi-15は、2022/2/20より計器故障

海側互層、細粒・粗粒砂岩のグルーピングは、非凍結箇所（各号機海水配管トレンチ下部）を除き、各号機に1箇所程度設定

- 互層観測井
- 粗粒・細粒砂岩 観測井

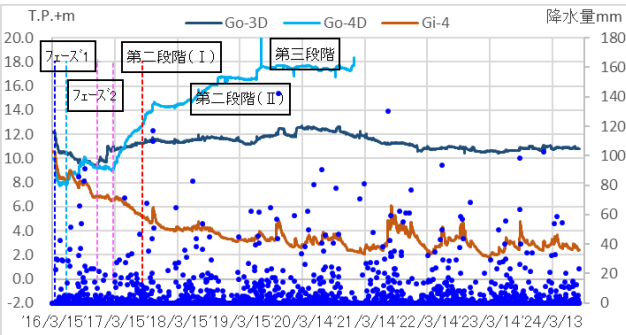
フェーズ1：H28.3/31～  
 フェーズ2：H28.6/6～  
 第二段階（Ⅰ）：H28.12/3～  
 第二段階（Ⅱ）：H29.3/3～  
 第三段階：H29.8/22～



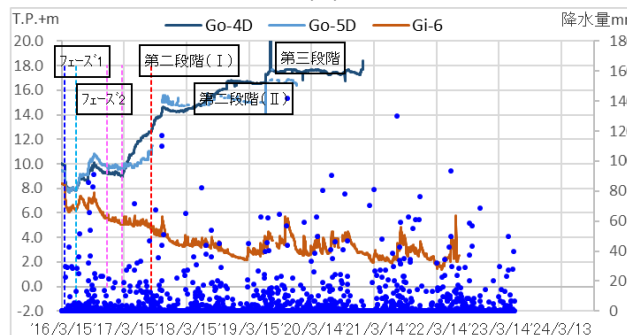
データ；～2024/8/18

# 【参考1】 2-5 地下水位・水頭状況 (互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 山側)

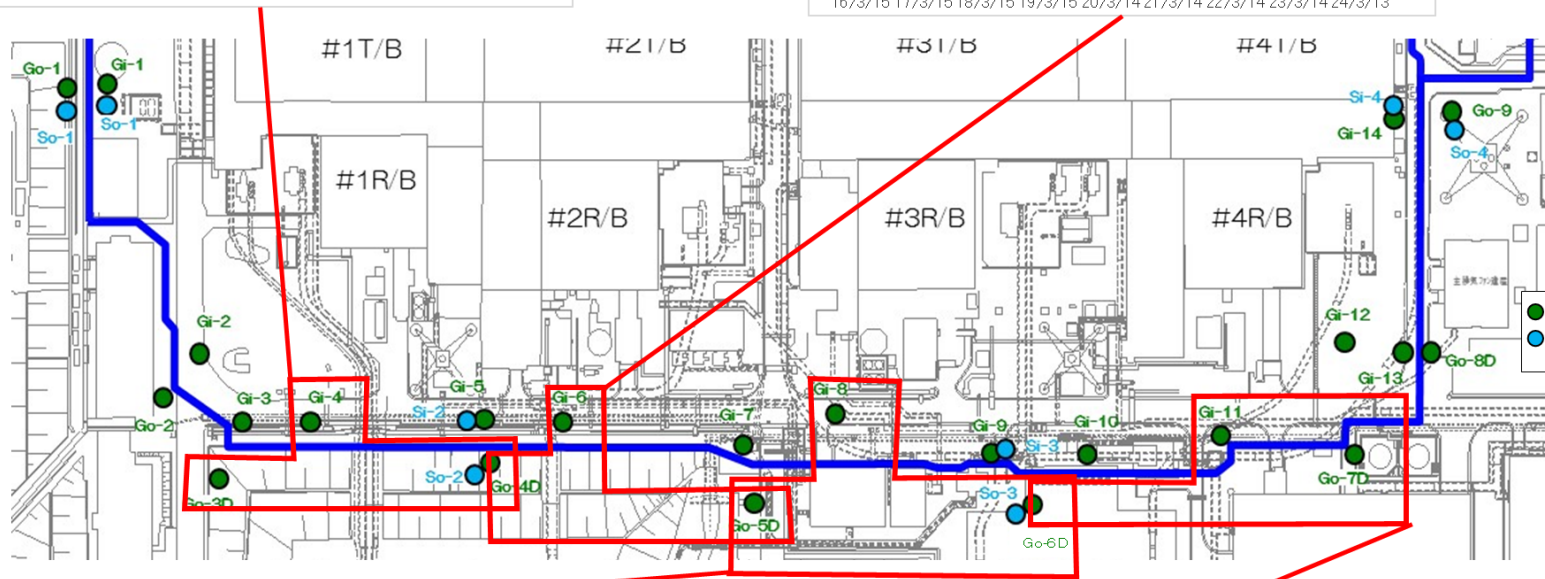
※Go-4Dは、2021/1/11より計器故障



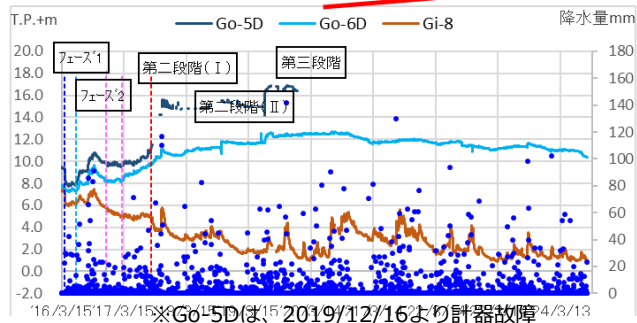
※Go-4Dは、2021/1/11より計器故障



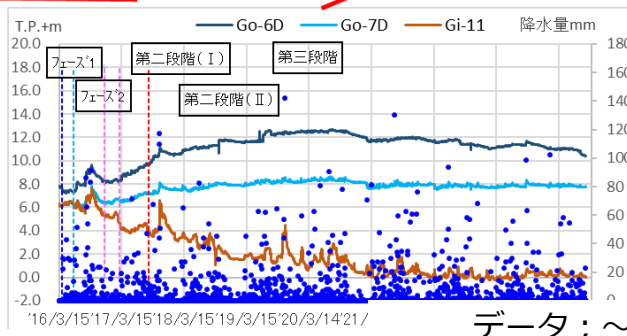
※Gi-6は、2022/7/25より計器故障



- 互層観測井
  - 粗粒・細粒砂岩 観測井
- フェーズ1 : H28.3/31~  
 フェーズ2 : H28.6/6~  
 第二段階 (I) : H28.12/3~  
 第二段階 (II) : H29.3/3~  
 第三段階 : H29.8/22~



※Go-5Dは、2019/12/16より計器故障



データ ; ~2024/8/18

